



# 岡 津

平成29年度のキーワード  
「つなぐ<sup>×3</sup> そして、その先へ。」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>

学校だより 9月号  
平成29年8月28日  
横浜市立岡津小学校  
校長 小竹 護  
TEL 811-4104  
FAX 812-4586

学校長 小竹 護

## 世界遺産

世界遺産とは、世界中の人たちの宝物として守っていく必要のある貴重な文化遺産や自然遺産のことです。世界遺産として登録されるためには、その価値が認められること、将来にわたって守っていく仕組みが整っていることなど、いくつかの条件があり、厳しい審査を受けなければなりません。1960年代、ユネスコはエジプトのアスワンハイダム建設によってナイル川流域にあったヌビア遺跡を水没の危機から救うためにこの遺跡群を移築して保存する救済キャンペーンを行いました。このときに「人類共通の遺産」という基本的な考え方が広がり、1972年、「世界遺産条約」の採択へとつながっていきました。

さて、今年5月、福岡県の『神宿の島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の登録が決まり、日本の21件目の世界遺産となりました。沖ノ島は九州本島の宗像大社の北西60kmに浮かぶ島で、中国や朝鮮半島に続く海道の要衝として重要な役割を果たし、約8万点もの宝物が出土していることから「海の正倉院」と言われています。また、「島に上陸するのは決まった日(現地大祭の日)」のみであること、「抽選で選ばれた男性約200名だけ」しか上陸できないこと、「島で起こったことは他言してはならないこと」などきまりがあります。日本政府は遺産を保護するために、今後は研究員と神社関係者のみが島に上陸できるようにするとしています。これは、遺産登録を観光客呼び込みの材料とする取り組みとは真逆のことです。世界遺産の大きな目的は「次世代に伝えること」であり、立入禁止はその目的にかないません。「全面立入禁止の世界遺産」は世界的にも珍しいようなので、それ自体が一つの価値とみなせるかもしれません。「小笠原」でも、固有種生物保護のため村全体で厳しいルール(上陸制限など)を設けています。神奈川県「鎌倉」も、世界遺産登録の再挑戦を模索しているようです。後世の人たちにどのようにつないでいくかが大事だと思います。



日光の社寺 1999



小笠原諸島 2011



富士山 2013



沖ノ島 2017

※ 数字(西暦)は世界遺産登録年です。